



ありたい姿 探検記



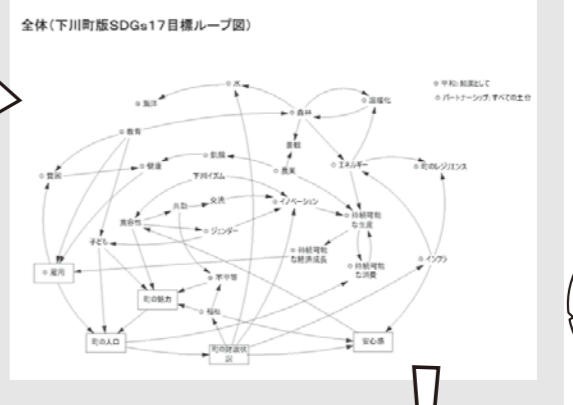
前回のやさしい
SDGsの落とし穴
・ジブングト化できない
・SDGsと現状を紐づけて
取り組んでいると満足する

下川町のSDGs取組の方針
・世界初！
町お手製のSDGsを町民
と一緒につくり、これを元
にまちづくりを！

「2030年における下川町のありたい姿」の策定には、町民と行政職員を合わせて20人程度が関わりました。2017年9月と2018年4月の策定で、公式な会議は13回、その他有志でも何回も集まり、たくさん宿題に埋もれながらもまちづくりへの「思い」をたくさん詰め込んでつくられた将来像です。今回はその策定までの道のりを、裏話を交えながら紹介していきます。

ありたい姿策定秘話

どんなまちでありたいか／
下川「らしさ」／あるべき姿総論
キーワードとその繋がりを
ループ図にまとめました。



最悪と最高シナリオの検討
下川町の最悪と最高のシナリオをSDGsで想像するワークショップ。



この意見がすごい！
「下川りくらしネット」
結成秘話
「女性の意見が取り残されてる！？」という危機感から子育て世代でも集まれる工夫をし、まちのことを考える「女子会」が開催されました。この「女子会」こそが今や下川町のまちづくりにかかせない「下川りくらしネット」の皆さん。



町民の声
パブリックコメント
117件
町民有志の会「ありたい姿を導く会」を町民主導で実施し、足りな部分拾い上げました。

目標7「子どもたちの笑顔と未来世代の幸せを育むまち」は、実は目標2「誰ひとり取り残されないまち」の中に入っており、会議の後半まで目標は6つでした。しかし、子どもたち独自の目標の重要性が議論され、ありたい姿の目標は7つに、そして「地域共育ビジョン」が策定、実行されています。もし目標7がなければ、下川町の今は違う形になっていたかもしれません。あの時、「子どもたち、未来世代」を考えなければならぬと立ち上がった町民の皆さんに感謝です。次回はありたい姿がどう使われているか、一緒にみていきましょう。



キックオフ！
どんな将来像をつくりたいか、策定までの流れについて。

SDGsとその使い方
ワークショップ



宿題をSDGsに当てはめる
この意見がすごい！

海は関係ないように思えるが、下川町にある川は上流地域で海につながっているの、海の豊かさを守ることも考える必要があります。

私たちの暮らし
何が大切なの？



宿題

下川町の現状把握
下川町の将来増えたい・減りたい・ほしい・そのままでのまわりの聞き取り、洗い出す。

町民意向調査



中学校でも実態把握

しもかわの「ここ」がすごい！

戸塚高校2年生の「下川xSDGsの総合学習」にて

今年度は連携協定を結んでいる横浜市戸塚区と戸塚高校との三者連携で2年生の総合学習のお手伝いをしています。早速6月24日に「下川町とSDGsについて」の、7月20日に下川町の事業者や、役場での取組についての授業をしてきましたが、下川町を知っている生徒の多いこと！1年生も来年のためにSDGsや下川町について調べており、将来下川町での活躍が期待できます。



「ありたい姿」掲示板

町民の皆さんのSDGsにつながる活動やまちづくりの関心事にお答えするコーナーです。“町内の面白い活動は？” “こんなことがしたい、知りたい” “私が気軽にできる取組はこれだ！” などなど、皆さんの声を『知恵の環』にお寄せください。

最大の秘話

■お問い合わせ
政策推進課
☎4-2511 内線234
☆4-251102 Fax4-2517